



プログラム
9

集まれボランティア! 「ごちゃまぜ」ってなあに? 地域を拓く共生社会 ～わたしたちにできることを考えよう～

実行主体 : 能美市ボランティア連絡協議会
日 時 : 2月23日(木・祝) 10時～11時30分
会 場 : 寺井地区公民館 大ホール
参加者 : 131名



内容 能美市ボランティア連絡協議会では、ボランティア活動の更なる充実を目指すことを目的に、毎年研修会を実施しています。

今回は社会福祉法人 佛子園 理事長 おお やりょうせい 雄谷良成氏が、「ごちゃまぜ～地域を拓く共生社会～」と題し講演されました。「ごちゃまぜ」とは、高齢者も若者も子どもも障がいのあるなしに関わらず、みんな一緒にいるという意味です。みんなが一緒に楽しく、幸せに暮らせる地域の土台作りに必要な人と人との関わり方や様々なつながりづくりのヒントを学びました。

また、「ごちゃまぜ」から生まれる「笑うことの大切さ」や「居場所の重要性」を感じ、改めて人と人のつながりが大切であることを理解しました。コロナ禍により、人と人とのつながりが希薄になっている現状ですが、これまでのつながりに加え、新たなつながりを通して、「ごちゃまぜ」や「地域共生社会」が実現できるよう、ボランティアや地域の住民など様々な人たちが“できること”を考える機会としました。



“ごちゃまぜ”について理解を深めました。



事例を通じて、「居場所の重要性」を感じ、学ぶことができました。

参加者の感想 (一部抜粋)

- ごちゃまぜって、いい言葉ですね。とてもいいお話しでした。
- いろんな人と交わる事(ごちゃまぜ)の大切さを感じました。
- 私も大好きな「ごちゃまぜ」もっと広がったらいいですね。• ごちゃまぜりたいと強く思いました。
- みんなで寄り添える場所があることが、地域を元気にしていくことを教えられました。